

白羽区当日 QA

Q:津波の高さが中西川河口で4 呎 60 呎と言われている。2 級河川で県の管轄と思うが、河口へは水門を設置しないのか。

A: 万全の対応を取ることは必要。県へ要望していきたい。

Q: 御前崎は原子力発電所が立地していることで財政力が豊か。楽な予算編成ができるだろう。交付金が入るために予算を組んでいるように感じる。交付金がないという前提で予算を組んでほしい。病院西の道路で国道 150 号から南は誰が見てもあの広さは必要ないだろう。交付金が入ってこなくても御前崎が潤うような方策をとってほしい。

A: 昭和 42 年当時、東海道線や高速道路からも遠く、企業立地もままならず、人口も減少していた浜岡町は財政的に相当厳しい状況を強いられていた。発電所の立地は、町を何とかしようとして先人が佐倉地区の理解を得たうえで、この地域の発展を願って英断した。この安定した財源を確保できるおかげで御前崎市は水道料金や保育料も安いし、電源立地地域の振興を図る交付金によってケーブルテレビや道水路、教育施設などが整備できた。現状は厳しいが市として企業立地も推進しながら、交付金は今後も市民のために有効に活用していく。

Q: 支出を切り詰める努力が足りないと感じる。今ある設備をやめる勇気も必要ではないか。

A: 償却資産も毎年 5 億 ~ 6 億減ってくる。将来的に負担をかける箱物を抑え、御前崎地区の下水道など必要な環境整備を進めるなど、将来を見据えた実施計画に沿って効果的な投資をしていきたい。

Q: 地震でブロック塀が倒壊した場合は補助が出ないが亀裂が入った場合は補助が出る。倒壊したのも亀裂が入ったのも同様に扱ってほしい。考え方がおかしいのではないか。

A: 原則として個人の財産へ補助はしない。補助金は見舞い金ではない。基本的に古いブロック塀は鉄筋が入っていない。これが道路沿いにそびえていると避難するのに危険であり崩れてくれば邪魔になる。建っている鉄筋なしのブロックを積囲いに変更するか、鉄筋を入れて倒壊防止するなどの撤去・改善費用に対して補助する。崩れたから補助してくれ、と言われても崩れてしまったものに対して補助はできない。

Q: 農民センターは建て直さないといけない時期。佐倉地区はプール金を持っているそう。旧浜岡地区は世帯で自分の金を出して公民館を建てたとは聞かない。例えば防災センター建設などの補助金が出ないのか。浜岡との差を埋められないか。各地区平等にしてほしい。

A: 御前崎地区にも協力金は入っているだろう。浜岡地区も合併する時積み立てていた基金を地区へ分配した。合併後はケーブルテレビの配信や下水道計画など平等になるよう努力している。新野公民館や朝比奈公民館は市、地区の公会堂は各地区で積み立てて負担している。

Q: 以前から要望してある中西川の浚渫はいつごろ実施可能か。今年の雨でも水位が上昇し危険を感じた。流域住民は不安を感じる。

- A：地元要望を受けて、袋井土木事務所にあげてあるが、県自体の予算も少ない上に、他に大きい河川も抱えているためなかなか進まない。再度土木事務所に現場を見てもらって早期実現を目指したい。
- Q：8月の雨で原前川を流れる水が堤防を超えて畑に入って被害を受けた。至急堤防のかさ上げをしてほしい。
- A：前年度で測量設計が終わり、本年度緊急性の高いタマネギ道路上流付近から工事に入る。
- Q：県道の中西川から白羽幼稚園までの間への通学路としての歩道の確保について毎年要望していて、幼稚園から白羽神社前までは地権者の了承が得られているようだが、いつごろからできるのか。
- A：8月中旬に土木事務所と現地を視察した。来年度に県が予算折衝するとのこと。予算が付けば、現地調査に入る予定。立ち入る際には事前に通知する。ほかは神社と民家が近接して、県道の拡幅が難しいだけに県とも相談していきたい。
- Q：増船寺東側の道路が行き止まり。中西川堤防道路までつなげてほしい。
- A：要望を受けたが、必要性の高い道路から順次整備していく。
- Q：豚舎の臭いがひどい。誘致した経緯もあるが、昔は屋根が付いていた。今はない。計測機器をつけてデータを取るなど対応してほしい。
- A：基準値内である限り何ともいえない。
- Q：市営住宅入居者が道路へ駐車している。車も1人1台の時代。
- A：用地があれば地権者へ地元で話をしてほしい。2台でも対応している住宅もある。
- Q：その話を管理課へしたら、「すぐ現場を見に行きます」と言ったきり、まったく来ない。職務怠慢だ。
- A：申し訳ない。